

科目名	楽曲分析 I	形態	講義	開講期	春学期
担当教員	小林 聡	単位	2	年次	4

＝授業科目の目標＝

バロック、古典派、ロマン派、フランス近代の作品のピアノ作品を中心に分析し、作曲家の作品と演奏のあり方について、多角的視点から考えて行きます。

＝履修の条件と学習の方法＝

ピアノ、電子オルガンコース以外の学生で履修希望する人は要相談。2/3 以上の出席がない場合、理由に関わらず、失格になります。遅刻、早退、中途退席 3 回で欠席 1 回と見なします。また、授業時間の半分の時間（45 分）を超過しての遅刻、早退、途中退席は欠席扱いとします。また、プレゼンテーションを、時々、課します。その際には、事前に準備をして下さい。

＝授業内容＝

- 1 回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認。
- 2 回 Johann Sebastian Bach: 鍵盤作品（その 1）
- 3 回 Johann Sebastian Bach: 鍵盤作品（その 2）
- 4 回 Mozart: Piano Sonata（その 1）
- 5 回 Mozart: Piano Sonata（その 2）
- 6 回 Beethoven: Piano Sonata（その 1）
- 7 回 Beethoven: Piano Sonata（その 2）
- 8 回 Beethoven: Violin Sonata
- 9 回 Frédéric Chopin: ピアノ作品（その 1）
- 10 回 Frédéric Chopin: ピアノ作品（その 2）
- 11 回 Frédéric Chopin: ピアノ作品（その 3）
- 12 回 Robert Schumann: ピアノ作品（その 1）
- 13 回 Robert Schumann: ピアノ作品（その 2）
- 14 回 Gabriel Fauré: ピアノ作品
- 15 回 Maurice Ravel: ピアノ作品

＝成績評価の方法と評価の基準＝

出席、授業態度、随時課す提出物によって評価します。
（85 点以上 A、70～84 点 B、60～69 点 C、59 点以下 D）

＝テキスト（必携）＝

担当教員の指示に従う。